

元気な人
紹介



「紅葉連」連長 阿部 哲壮さん

知人の紹介で徳島の阿波踊りを見に行ったら、その踊りに感動し

酔いがさめなかった。この阿波踊りが世羅で出来たら、町が賑わうのではと、仲間と見様見真似ではじめた阿波踊り。やり始めると奥が深く、再三教えを請いに徳島に行った。

その様子を有名連の指導者は「全国から多くの愛好者が、阿波踊りを習いに来たが、阿部さんが一番阿呆じゃ。」と熱の入れようを話された。「四百年も続いている阿波踊りには、体の奥底から湧き上がる『ぞめき』を感じる」と、阿部さんは熱く語る。

毎年4月下旬に徳島で開催される「はなはるフェスタ」「阿波踊りコンテスト県外連部門」に、初回から参加している紅葉連は、今年で7年目になります。その間の、2007年には優勝され、以降も上位入賞されている。

その優勝のお礼にと、紅葉ゆかりの宮島へ行き、表参道を踊って進んだ。「紅葉をデザインした紅葉連の浴衣」その光景が宮島の紅葉のイメージとマッチし、観光客や、商店街の人から喝采を受けた。

偶然に下蒲刈の、「朝鮮通信使祭り」

の関係者の目にとまり、下蒲刈町で公演。この公演が、釜山市から来ていた韓国舞踊団の目に留まり、釜山市から「韓日朝鮮通信使交流祭り」に招待され、今年で3年（今年は中止）になる。無から始めた阿波踊り。楽器提灯・太鼓・鉦などのひとつひとつをそろえた。

最近では、地元の「町づくり大会」や「廿日えびす」など、各種のイベントや祭りなど出演する機会も多くなり、始めは苦手だった地元公演も、暖かい声援を励みに活動が出来て、皆様のお陰と本当に感謝している。今年の目標は、「はなはるフェスタ」県外連部門で優勝。東京や大阪の連に負けない、高い目標を掲げ活動したいと話された。（福田義）



イベントでも大好評

紅葉連では一緒に踊る仲間を求めています。

表紙紹介



2月28日に行われた、世羅町「安全と安心のまちづくり大会」せらにし・おおた・こうさんの各保育所の園児により構成されるハローシングナル。信号機の赤・黄・青を帽子の色で表した園児の皆さんによる、元気な演技を紹介します。

編集後記

「命を守る予算」と銘打った首相。

それとは裏腹に、公立小・中学校の耐震化や女性特有のガン検診に関する予算が大幅に削減された。

子どもと女性の「命」に関わる「待ったなし」の対策であり、国が全力で取り組むのが当然である。

「政治行動は、一つの社会を助けて、出来るだけ良い未来を産ませる産婆でなければならぬ。政治の役割は、母と子を救うことである」と、フランスの作

議会を傍聴してみませんか
次回の定例会は6月です

日程は無線放送でお知らせします。またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

委員長／福田 義人
副委員長／松本 秀治
委員／西田美喜男・安佐 長秀
福田 豪・奥田 正和

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。



この広報は、環境にやさしい植物性大豆インキで印刷しています。